

## 清明・麻生津地区 福井鉄道新駅MMセミナー 開催



● 写真／麻生津／松原光也

● 関連記事／4～5ページ

### ☆☆活動報告☆☆

- 8月20日 さばえ環境フェア2011  
23日 第4回カーフリーデー実行委員会  
9月4日 福武線「泰澄の里駅」MMセミナー  
福武線「清明駅」MMセミナー  
6日 第5回カーフリーデー実行委員会  
13日 第6回カーフリーデー実行委員会  
16日 ROBA例会・第90回理事会  
17日  
カーフリーデーふくい2011in田原町

### ☆☆今後の予定☆☆

- 10月1日(土)～2日(日)  
全国まちづくり会議(さいたま市)  
14日(金)～15日(土)  
カーフリーデーワークショップ&セミナー(東京)  
21日(金)  
ROBA例会・第91回理事会

●ROBANEWS117号はCFDふくい特集です

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

### ここが違う、ヨーロッパの交通政策

片野優 白水社 1900円+税

「フランスでは公共交通が黒字を出すことは悪だと考えられている」というフレーズが印象に残った。公共交通政策はもちろん、自転車道、LRT、中心市街地での車制限、電気自動車など様々な施策が目白押しに書かれた本である。私は常に日本ではなぜ真似できないかを考えて読んでみた。

「欧州のいい事例ばかりピックアップして礼賛するな、日本でもできるところはやっている」とこの本を批判的に読む方法もある。銀座・秋葉原・生駒駅・・・時間を区切って車両通行止めになっている道路はたくさんある。過去に鉄道ストックを作ってきた結果、欧州よりはるかに公共交通の分担率が高い、駅前で困るほど自転車利用者が多く、放置しても盗まれない。「日本の市民は意識が低い」という確信を深めるために読むのはやめてほしい。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

## 第4回えちぜん鉄道活性化連携協議会の報告

報告者：内田佳次

◆開催日時：平成23年8月17日 15:40~16:50

### ◆協議会委員

福井大学教授 川上洋司、えちぜん鉄道サポート団体連絡会会長 和田高枝、ROBA 会長内田佳次、福井商工会議所会頭代理 坂下理事、えちぜん鉄道社長 見奈美 徹、福井市長 東村新一、勝山市長 山岸正裕、あわら市長 橋本達也、坂井市長 坂本憲男、永平寺町長 松本文雄

### ◆専門委員

中部運輸局鉄道部長代理加藤専門官、福井運輸支局長代理 長谷川専門官、福井県総合政策部長 東村健治

### ◆議事

#### 1、計画策定の流れについて

- ・平成24年度から平成33年度までの10年間の計画とする。
- ・次回第5回協議会（本年10月予定）で連携計画案をとりまとめる。

#### 2、えちぜん鉄道公共交通活性化総合連携計画 概要（案）について

- 基本理念「鉄道でつながる 人・まち・暮らし」
- 基本目標
  - ・次世代につながる生活関連社会資本づくり
  - ・暮らしをつなぐ鉄道のあるまちづくり
  - ・まちとまちをつなぐ交流づくり
  - ・人をつなぐ笑顔のサービスづくり
- 利用目標 平成33年度の利用者目標を333万人とする。
- 行政支援
  - 沿線市・町⇒社会資本の維持に必要な経費 21,9億
  - 福井県 ⇒資産取得 2,4億
  - 早期の根本的対策が必要な安全設備投資 19,7億

### ◆参加委員の意見

山岸勝山市長⇒県・市町にとって有用な鉄道と認識ができた。越道の必要性はさらに増している。えち鉄には自立を考えていかなければならない。

東村福井市長⇒今回の計画は評価できる内容である。新幹線や他のファクターもあるが10年先も動かしていかなければならない。

橋本あわら市長⇒これから10年のスキームを市民・議会に納得してもらわないといけない。嶺北の大事な基盤であることを理解してもらえる努力が必要。

坂本坂井市長⇒県の考え方が明確に伝わってこない。

松本永平寺町長⇒今後の10年は新しい視点で見ていく必要がある。

和田・サポート団体⇒333万人の利用者目標は大きい数字だ。このままでは達成は難しい  
と考える。もっと駅からのまちづくりを進めないといけない。

内田・ROBA⇒生活関連社会資本という位置づけは大きな意義があり大切だ。この  
計画が公共交通の連携計画となっているところが活性化には必要で、  
自宅からのアクセスが改善されないと利用者は増えない。中部縦貫道  
が供用されると、鉄道の利用者は明らかに減少する。しっかり対策を  
講じなければならない。鉄道にもとめられている速達性、快適性、安  
全性さらに料金（運賃）に対処しないと利用者の増加は困難だろう。

また、非日常の取り込みには観光の視点が大切。オール福井で対処  
する取り組みが求められる。市民レベルでは鉄道にどうしてそんなに  
税金を使うのか、といった声を耳にする。行政は積極的に社会資本の  
中身を市民に分かりやすく説明していただきたい。

見奈美・えちぜん鉄道社長⇒民間活力を最大限発揮して、自立を目指す。福井鉄道との  
乗り入れはプラスとなるように取り組む。線路保存費などの諸税が8  
億になる。免税の仕組みを検討していただきたい。

川上座長⇒生活するうえで地域になくてはならない生活関連資本と位置づけたこ  
とは非常に大きい。連携計画の連携に意味があり行政間の連携や交通  
事業者間、沿線企業との連携など地域社会を活性化するための手段と  
してえちぜん鉄道を活用するのが連携計画である。

えちぜん鉄道を活性化するというのは、地域が良くなっていくバロメ  
ーターでもある。えちぜん越道の活性化には、どのように活用してい  
くかの戦略が方針として盛り込まれる必要がある。この方針では少し  
弱い気がする。

以上

## 清明・麻生津地区福井鉄道新駅MMセミナー報告 その1 (報告者：内田佳次)

平成 22 年度の「市役所発」協働に向けたミーティングテーブル採択された案件（公共交通利用促進モビリティ・マネジメント事業）が下記のとおり実施いたしましたので報告いたします。

当該事業は、福井鉄道福武線の利用促進につながるよう清明駅、秦澄の里駅が平成 23 年 3 月 20 日開業したことをキッカケとして、地域（清明地区、麻生津地区）住民を中心に福武線の利用促進とクルマに頼らない生活の足がかりとして企画いたしました。福井市、福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会、ROBAとの連携により実現いたしました。ROBAからの参加は、林博、清水、松原、内田の 4 名です。

### 記

#### ●清明地区MMセミナー『生かそう、使おう うららの駅・地域の鉄道』

- ・日時：平成 23 年 9 月 4 日（日）10：00～11：45
- ・場所：清明公民館 大会議室
- ・司会：清水省吾
- ・講師：林 博

#### ●麻生津地区セミナー『生かそう、使おう うららの駅・地域の鉄道』

- ・日時：平成 23 年 9 月 4 日（日）15：00～16：45
- ・場所：麻生津公民館 大会議室
- ・司会：清水省吾
- ・講師：林 博

台風 12 号が上陸している最中、予定どおり開催いたしました。参加者は清明では 11 名、麻生津公民館では 51 名の参加者がありました。

講演の内容は、クルマは便利な移動手段だが、社会的には交通事故・環境・道路の渋滞などマイナス要因も多い。また、個人の問題としてクルマを所有すると 1 台年間 70 万もの出費がある。家庭で車を減らすことも考える必要がある。

そのためには、ホジロバ交通を利用することから始めようと提案しています。具体的には、9 月 17 日のカーフリーデーに参加するところから行動して下さい、と提案しました。

また、地域の鉄道を地域住民が支えるという観点で、他の鉄道での活性化事例や駅に花壇を飾ったり中学生がベンチを作っている地域を紹介しながら、ここで何ができるかを考えましょうと訴えました。



熱心に聞き入る村田社長と福井市のスタッフ



清明公民館での様子



麻生津公民館での様子



面白おかしく熱弁の林講師

## 清明・麻生津地区福井鉄道新駅MMセミナー報告 その2 (報告者：林 博)

今回、講師を務めさせていただきましたので、一言、報告させていただきます。

カーフリーデーふくいも今年で5回目になりますが、クルマを置いて参加してもらうために、いかに楽しいイベントを開催して来てもらうかに腐心していただけで、なかなか参加という行動に結びつかなかったのかもしれませんが、そこで、参加してもらいたい地域に入ってカーフリーデーの趣旨を伝えて、参加のきっかけとなるようなそんなことができないかということをお互いに話し合っ、福井市役所発のミーティングテーブルに応募しました。応募した内容は、新駅開設前に地域に呼びかけて事前PRし、その後の経過をアンケートなどで確認しながら、締めにカーフリーデーへのお誘いをするこ、クルマから電車への転換を促すというものでした。

しかし、新駅のオープニングイベントは東日本地震で中止されるなど、いろいろありまして、最後の締めの部分だけを実施することになったのですが、締めのMMセミナーは台風12号と清明地区のイベントが重なるなど、アクシデント続きではありましたが、それを乗り越えて開催することができました。

MM(モビリティ・マネジメント)事業はこれまでのROBAの活動そのものでもあり、今回の資料もこれまでのものを引用しながら作成しましたので、ROBANEWSと一緒に配布しようということになりました。決して作りすぎた資料の在庫処分ではありませんので、是非ご一読ください。

今回のMM資料の作成にあたってとくに留意した点は、クルマの問題課題を、社会の問題と個人の問題に区分して、それぞれが何のためならクルマを控えられるか、場合によってはクルマをやめられるか、いかなれば禁煙のときのような感覚で問いかけたということです。また、カーフリーデーへのお誘いは、休日のイベント参加で、のんびりと子供や孫を連れて乗車体験をしてもらおうということ、1日フリー切符を無料配布して、それでもあなたは乗りませんかと呼びかけたこと、MMの結果はどうか、あまり期待しすぎてもこまります。





作/漆寄 耕次

### ケントリーくんのあれこれ日記 Part 3

東日本大震災からほぼ半年後の今月上旬、台風12号が各地に大雨の被害をもたらしました。報道では奈良県五条市や十津川村など山間部での浸水被害が大きく取り扱われていますが、紀伊半島沿岸部でも大きな被害があり、JR紀勢本線が白浜～熊野市間で不通になりました。鉄橋が流出した箇所もあるため、完全復旧には相当の時間がかかると思います。ちなみに2004年に福井豪雨の被害を受けた越美北線では、存続問題が議論されていて復旧工事の着工が遅れたこともありましたが、全線開通までに約3年を要しています。

ところで、この原稿締め切り直前に朗報(※)がありました。被害の比較的少なかった白浜～串本間が今月17日から、串本～紀伊勝浦間が今月26日からそれぞれ運転再開の予定です。不便な代行バス利用を強いられていた通勤通学客も、これで少し安心されたことでしょう。ただ、特急は間引き運転がしばらく続くようですので、秋の行楽シーズンを控えた観光地にとっては大きな痛手です。観光客ならびに通勤通学の足を確保するためにも、1日も早い全線復旧を祈るばかりです。

(※) 参考資料：紀伊民報のURL

<http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=217531>



●串本のダイビングポイントにて/2008年10月撮影

#### 編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「カーフリーデーも5回目となりました。少しずつですが輪が広がっているのを実感します。小さい1歩ですが、それは着実な1歩です。」

林(変集長)

「CFDふくい2011は稲刈りで欠席です。田原町と福島を思いながら・・・」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>